

発行所

株式会社 FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel:06-209-7678

編集発行人：税理士 三輪 厚二 Fax:06-209-8145

☞ 相続したくない借金

Q：父は先月、相続財産（土地）1億円を残して亡くなりましたが、借金もほぼ同じ位ありそうです。借金を背負い込むのはいやなのですが、何か方法はないでしょうか。

A：相続財産中の、債務を整理して、余りが出た分だけ相続し、余りが出なければ相続はしない「限定承認」という制度があります。

【解説】

限定承認とは、相続人全員が相続によって取得した財産を限度として被相続人の債務及び遺贈の義務を負担するという制度です。

限定承認をすると、相続開始時に、相続財産を時価（通常の市場価額）で譲渡したものとして、被相続人に譲渡所得税が課されます。これは、被相続人時代の資産の値上益は、被相続人に課税して精算し、その所得税は、被相続人の債務として取扱い、他の債務との合計額が、相続財産を超える部分については、限定承認の効果として切り捨てさせようとするものです。

この場合、譲渡所得の申告は、相続の日の翌日より4カ月以内に、相続人が被相続人に代わり、被相続人の住所地の税務署に準確定申告することになります。

なお、限定承認の申述は、相続の開始があったことを知ってから3カ月以内に、家庭裁判所に「相続の限定承認の申述審判申立書」を提出して行います。

